

平成30年度実務研修会 各講座のテーマと内容

クラスコード	テーマ	内容
11	開講式 ・ 理事長あいさつ ・ IAAの動向とアクチュアリー の将来について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開講にあたり、創立30周年を迎える当会の現状および今後の展望についてお話しいたします。 ・ 創立30周年記念のイベントとして、IAA（国際アクチュアリー会）会長の吉村雅明氏にご講演いただきます。 IAAの最新動向とともにアクチュアリーの将来についてお話しいたします。
21	公的年金財政	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公的年金財政を考えるうえでの基本的な事項として、賦課方式を基本とした公的年金の財政の特徴、賦課方式と積立方式の比較、公的年金財政の均衡を図る仕組み等について公的年金の意義を踏まえつつ解説します。 ・ 加えて、平成26年財政検証結果を紹介するとともに、平成31年に予定されている次期財政検証に向けた議論（経済前提に関する専門委員会、年金部会における議論）等を紹介いたします。
22	確定拠出年金の最新トレンド ～企業型および個人型（iDeCo） の活用術～	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普及の進む企業型DC、個人型（iDeCo）の理解を深めます。 ・ 法制度の解説に加え、国民の老後資産形成にDC制度をどう活用していくべきか考察し、フィナンシャルプランニングの観点でのDC制度の意義もお話します。 ・ 2018年に行われたDC法改正の施行内容、今後の改正の方向性についても解説します。
23	リスク分担型企業年金の 導入事例	<ul style="list-style-type: none"> ・ リスク分担型企業年金の導入に至った経緯、導入に当たり苦労されたこと、留意されたこと等を年金基金の立場からお話いたします。 ・ 年金数理人にとって、自身の果たすべき役割について示唆を与えてくれる講座です。
31	企業年金・個人年金の 現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業年金制度、個人年金制度を取り上げ、現状と今後の課題について幅広く解説します。 ・ できる限り最新情報を盛り込み、企業年金だけでなく、iDeCoの状況などについても触れる予定です。 ・ 企業年金の業務に携わる者にとって関心の高いテーマであり、例年人気の講座となっています。
32	IFRSの動向 - 日本基準との差異を交えて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本講座では、IFRS（国際会計基準）の全体的な動向を解説します。 ・ 具体的には、最近公表された、または開発中のIFRSに関して、基準の紹介だけではなく、その開発経緯や目的等も分かりやすく説明しますので、最近のIFRSの開発動向についての基礎的な知識を得ることができる講座となっています。 ・ 必要に応じ日本基準との差異についても言及しますので、IFRSについて特段の知識が無い方でも安心して受講いただけます。ぜひ受講ください。
33	企業年金における 運用ポートフォリオについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの運用会社が多く運用商品を提供しています。しかし、その中には本当に年金のポートフォリオ構築に必要なのか疑問に思う商品もあります。 ・ 年金のポートフォリオを考えた時、本当に必要な商品を原点に立ち返って考える必要があると思われるかもしれません。 ・ 何がキャッシュフローを生み出すのか、そしてそれをどうやって受け取ることが良いのか（“沢山”受け取りたいのか、“確実”に受け取りたいのか）を整理し、解説します。
41	同一労働同一賃金について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2018年6月に成立した働き方改革関連法のうち、いわゆる「同一労働同一賃金」に関する講座です。 ・ 法改正により、正規・非正規間の不合理な待遇差を解消するための規定が整備されるとともに、待遇差の内容・理由を説明することが義務付けられます。 ・ このような改正法の内容について詳しく解説します。
42	プレゼンテーションスキル の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門的な内容を専門家以外の人に説明する機会の多い年金数理人にとって、自分の考えを正確かつ簡潔に説明する技術（プレゼンテーションスキル）は欠かせないものとなっています。 ・ 本講座では、自分が意図したことをいかに相手に理解・納得してもらうかの技術（「論理性」「情報整理」「表現力」）に焦点をあて、隣の席の方とのペアでの簡単な実習を通して、必要なスキルを習得します。
43	財政運営実務基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員が業務を遂行するにあたって理解しておかなければならない実務基準の内容を解説する講座です。 ・ 以下の確定給付企業年金実務ガイドライン改正内容を中心に、実務関係者を主な対象とした解説を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成30年6月に施行された非継続基準特例掛金拠出方法に関する改正 ・ 厚生年金基金実務基準の確定給付企業年金実務ガイドラインへの反映

クラスコード	テーマ	内容
51	年金数理人が知っておきたい資産運用の基礎	<ul style="list-style-type: none"> 年金数理人にとって資産運用の知識がますます重要になっています。年金ALM実施時はもちろん、新財政運営基準における財政悪化リスク相当額の算定においても、各資産のリスクに関する知見が求められます。また、昨今の投資対象の広がりにより、幅広い資産についてリスク・リターン特性に関する知識が求められます。 本講座では、年金数理人にとって必要な資産運用の知識、とりわけオルタナティブを含む、各資産クラスのリスク・リターンの推計方法、政策的資産構成割合の決定方法、財政悪化リスク相当額（特別算定方法）の算定方法、その他の有用と思われる話題について解説します。
52	米国の年金制度	<ul style="list-style-type: none"> 米国の年金制度について解説する講座です。 公的年金と私的年金に関する基本的事項を説明します。 トピックスとして、以下を予定しています。 <ul style="list-style-type: none"> ○米国の税制 ○年金パイアウト ○多数事業主制度をとりまく諸問題
53	働き方改革と生産性向上を両立するための人事制度の模索	<ul style="list-style-type: none"> 本講座では、そもそもなぜ働き方改革が求められるのか、その背景を考えるとともに、現在各企業でどのような働き方改革の取組みがなされているのかを事例紹介します。 また、働き方改革と生産性向上を両立するための人事制度とはどのような制度となるのか考えていきます。
61	介護保険制度の現状と課題について	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険制度について知り、社会保障制度全体の理解を深める講座です。 介護保険制度の制度概要、現状と課題などの基礎的な内容を解説します。特に、介護保険制度と密接な関係にある医療保険制度との違いを説明しながら、講義をする予定です。 また、今年度は、介護保険制度の財政についても焦点を当てて、お話しします。
62	国債市場と金利の期間構造について	<ul style="list-style-type: none"> 企業年金の財政運営や退職給付会計を考えるうえで重要となる国債金利の基本的な事項を解説します。 金利の期間構造（ゼロクーポンイールドカーブ）がどのように決まるかについての説明を中心に、具体的なイールドカーブの推定手法や、推定によって得られる国債の理論価格算出や期待リターン推定等についても触れる予定です。また、ヘッジ付外債についても簡単に紹介します。
63	年金数理人のための企業年金の税制・税務	<ul style="list-style-type: none"> 本講座では、年金税制の基本的な解説はもちろんのこと、それにとどまらず、「租税原則」、「租税体系」、「所得概念」といった税制全体の基本的・理論的背景から説き起こして解説します。 後半では、「源泉徴収事務」、「課税年の判定」、「一時金給付における退職所得と一時所得の判定」など、年金基金等で実際に行われている税務のポイントについて解説します。
71	企業年金に関する裁判例の動向及び最近の法的論点	<ul style="list-style-type: none"> 企業年金に関する最近の裁判例を紹介し、実務への影響を探ります。また、企業年金に関する最近の法的トピックも取り上げます。 例年、受講者多数の人気講座となっています。
72	財政運営に関するフリーディスカッション	<ul style="list-style-type: none"> 確定給付企業年金制度の財政運営について自由に意見交換を行う参加型の講座です。 財政運営の実務に携わっている方が日頃から感じている疑問や課題等をテーマに、参加者でディスカッションを行っていただきます。 実務に携わっている方の積極的な参加を期待します。
73	退職給付会計について	<ul style="list-style-type: none"> 本講座では、退職給付制度に関する会計処理（主に日本基準）を取り上げます。 本年度は、割引率や死亡率等の基礎率の設定がどのように会計の制約を受けるのか、なぜ数理計算上の差異の償却が必要になるのかといった具体例を挙げながら、会計ルール（会計基準）の根底に横たわる本質的な考え方や狙いを理解できる内容とする予定です。 また、会計方針の変更や見積りの変更といった難解な会計用語も、わかりやすく説明します。
81	日本経済の動向 ～懸念される貿易戦争の帰結～	<ul style="list-style-type: none"> 本講座は、エコノミストによる日本経済に関する講義となります。 世界経済は堅調ですが、リスク要因には事欠きません。ここでは、貿易戦争が世界経済・相場へ与える影響、新興国の金融リスク、日銀の次の一手など、世界経済の「旬」の話題について大胆に論じます。
82	欧州連合および欧州主要国の年金政策と職域年金の動向	<ul style="list-style-type: none"> 欧州連合（EU）の年金政策および欧州主要国の年金制度につき、基本的な考え方や最近の動向を解説する講座です。 今年度は、EUの年金政策を年金充分性報告などをもとに解説し、後段ではオランダ・ドイツ・イギリスなどの主要国を取り上げ、主にその職域年金の動向を紹介します。 欧州各国の年金制度について、入門編を含めた構成とする予定です。
83	退職給付会計実務基準	<ul style="list-style-type: none"> 会員が業務を遂行するにあたって理解しておかなければならない実務基準の内容を解説する講座です。 「退職給付会計に関する数理実務基準」および「退職給付会計に関する数理実務ガイダンス」と、「IAS19に関する数理実務基準」を比較しながら解説を行う予定です。